

トキメキとめレター

新しい施設ができるまでの
ロードマップを考えよう！ついに最終回！登米市（仮称）地域交流
センター整備市民ワークショップ！

令和6年10月12日（土）、第3回登米市（仮称）地域交流センター整備市民ワークショップが開催されました！

このワークショップでは、（仮称）地域交流センターがまちの真ん中にあつたらうれしい場所を目指して、全3回、毎回異なるテーマに沿ってまちの未来を皆さんと一緒に話し合いました。

今回は総勢12名の方にご参加いただき、皆さんの登米市への思いがこもった熱い議論が交わされました。

本ワークショップは今回でひと区切りとなりますが、今後はこれまでワークショップ等を通じていただいた市民の皆さんのご意見を参考に、施設整備の根幹となる考え方を「基本構想」、具体的な施設機能を「基本計画」として整理してまいります。

どう参加する？

今回はこれまでの検討を踏まえ、（仮称）地域交流センターの開館まで、そして開館後、市民の皆さんが本施設とどのように関わったらよいかについて話し合いました。

開館前では、既存施設を使ったさよならイベントや、これまでの感謝を伝えるお掃除イベント、工事中の現場見学会等に参加する、という意見がどのグループからも出ました。これらのイベントは、開館までの盛り上がりを生み、同時にPRにもつながると思います。開館後では、サポーター組織を立ち上げてイベント等のお手伝いをする、という意見も全グループから出ていました。また、施設運営を担うという積極的なご意見もあり、心強い限りです！

本施設が多くの方に親しまれるには、施設に関する情報発信や、市民に自分ごととして考えていただける仕組みづくりを行政が行い、市民の皆さんにさまざまな場面で施設に関わっていただくことが大切です。今回のワークショップをつうじて生まれた、新しい交流の輪がこれで終わりなんてもったいない！市民の皆さんの持つパワーを存分に発揮していただける機会を、今後の検討段階でもぜひ設けたいと思っております。その際は、ぜひご協力のほどよろしく願います。

（各グループのご意見は裏面へ）

参加者の声

ワークショップは終了しますが、市民の目線で市民が自分達で作っている感を大事にして進めて頂ければと願っています。ありがとうございました。

市民や行政と区切らず、共に進める形をつくっていききたいですね。

ありがとうございました
ーごいしました

本ワークショップは今回をもって全日程を終了しました。これまでワークショップにご参加いただいた皆さん、かわら版をお手に取ってくださいました皆さん、ありがとうございました。

今後、検討状況は登米市ホームページ等で随時お知らせいたしますので引き続き本計画にご注目くださいと幸いです。

各グループのご意見を紹介します！

もみじグループ



どんな風に参加したい？

開館まで

◇市民がつくるアクション

- ・市民が自分たちで作ってる感が出せる仕組み
- ・設計段階で市民の発言力のあるワークショップ
- ・自分が出した案が作られていると感じる「現場見学会」
- ・開館後のイメージが市民に分かりやすく伝わる発信
- ・工事の進捗のわくわくするような発信
- ・トキメキとめレターのWeb版を毎週更新

◇なくなる施設へのアクション

- ・迫庁舎屋上から紙飛行機がボールを投げるイベント
- ・迫庁舎、公民館お掃除プロジェクト
お礼を兼ねてきれいにする
- ・子どもたちが公民館、迫庁舎を使って鬼ごっこ等
- ・迫庁舎、公民館、公園周辺にポイントを作ってレース
- ・子どもたちが公民館、迫庁舎どこでもお絵描き
- ・公民館で行われていたコミュニティまつりのこれまでの映像を見る集い

◇交通

- ・新施設から遠い地区の人が通いやすい方法
- ・新施設への交通網の事前整備
- ・まちの真ん中って登米市の？迫町の？
登米市全域から施設に来れるようにしてほしい

◇おもしろワクワク

- ・市長のイソプレゼント
- ・議長のイソプレゼント

◇運営

- ・若者主体の団体で管理する
- ・新施設運営者募集かつくり出す
- ・新施設使う世代、学生のワーキングチームを作る
- ・民間と行政とをつなぐHUB機能つくる

開館後

◇サポート支援

- ・NPO活性化センター（市民活動支援センター）
- ・小中高生が関われるイベントをサポート
- ・移住支援センター
（商工会、不動産、解体、片付、司法書士、JA）
- ・農業・就農支援センター（JA、独立系）
- ・人口減少対策に新施設活用
- ・新施設でのハローワーク業務（手続相談、若者の定住推進）
- ・健康づくりに役立つ集会のサポート
- ・スタートアップ支援センター（商工会）

◇体験・交流

- ・無料カフェコーナー作り・手伝い
- ・料理教室、ダンス練習等の体験者としての参加
- ・とめまる等に参加し歌を歌って市民を元気づける
- ・地域交流の場として活用、お茶っこ飲み会の企画
- ・野菜、団子、餅等の簡単マルシェ（4～6ヶ所）を週3ほど開催
- ・トライアルキッチンカフェの場の確保、発信の仕組みがある
- ・フードマラソン時、新施設で来町者への登米市PRブース
→既存のイベントで施設を活用する
- ・学生による模擬市議会の開催

◇若者主体の団体で管理する アクションプラン

- ①社会教育：学校外のサポート
- ②イベント運用：既存と新規
- ③起業支援：はじめたい人のサポート
- ④移住定住サポート：情報のよりどころ
- ⑤見まわり介護：独居老人の見まわりサポート
- ⑥異業種交流会
- ⑦高校生の座談会

こももグループ



どんな風に参加したい？

開館まで

◇現地見学会・フィールドワーク

- ・建設中の建物見学
- ・各地域のフィールドワーク

◇PR

- ・情報を逐一発信
- ・専用HP、SNSでの発信
- ・こうしたいの思いをまとめる
- ・準備室を設け、進捗状況を把握できる、要望等を言える場を作る

◇さよならイベント

- ・物品オークション
- ・閉庁式イベント
- ・さよならキャンプ
- ・迫図書館は警察署だったため
閉館前に警察展示イベントを開催

◇開館準備

- ・（仮称）交流センター、図書館の
サポーター団体の立ち上げ
- ・官民協働の団体の立ち上げ
- ・図書館館長の公募
- ・専従の人を公募する
- ・9町のイベントの人材不足等
調べてサポート、
団体活動ニーズを調べる
- ・事業運営についてNPO設立

◇ワークショップ（開館前後）

- ・各地域でのワークショップ
- ・各施設の職員を含めたワークショップ

◇その他

- ・このグループで他の自治体を視察

開館後

◇オープニングイベント

- ・大々的にこけら落としをする

◇イベント

- ・市民参加型イベントをPR
- ・サウナ
- ・図書館マルシェ
- ・道路冠水したらみんなでボート
競技大会
- ・毎年「おかえりモネ」の清原さんに
来てもらう
- ・YouTube配信

りんどうグループ



どんな風に参加したい？

開館まで

◇ソフト 運営方法

- ・民間団体の設立
- ・施設運営方法（NPO設立等）決める
- ・行政の業務委託の推進まとめ

◇ソフト 市民協働

- ・このワークショップだけではなく
市民の考えは継続して入れる
- ・市民と行政が共に話し合っていく
- ・これからその場を担う10～20代に
しっかり話をきく

◇イベント 既存施設解体前

- ・1日廃社屋サバゲー大会
- ・市役所お化け屋敷

- ・廃屋での写真、映画撮影
- ・青年、壮年の主張
- ・未来の庁舎コンテスト
（デザイン、完成図）

◇イベント 解体中

- ・市民意見を随時取り入れる仕組み作り
- ・建設現場見学会（子ども～大人まで）
- ・ワークショップへの参加
- ・スクラップ解体 ストレス発散イベント

◇イベント 解体後

- ・廃材を使った緑地化
- ・自分の墓石を探そう終活イベント…

開館後

◇運営

- ・地域の声を吸収する人材を置く
- ・施設をとりあえず利用してみる
- ・こどもの第3の居場所
- ・想いのある民間運営
- ・育成なくして地域はないので
育成の場になる

◇イベント

- ・登米市夏まつりを開催したい
- ・立体駐車場（大きいサイズ）で
イベントを開催したい

問合せ先

登米市総務部政策推進室

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
TEL: 0220-23-7353 / FAX: 0220-22-3328